

入学当初の一日の様子

例 スタートカリキュラムの実施

子どもたちが、学校を楽しく安心できる場だと感じることは、「明日も行きたい」「もっと学習したい」という意欲の高まりにつながります。

そのために神奈川県小学校では、幼稚園・保育園・認定こども園などでの、遊びを通した学びや育ちを大切にしながら、子どもたちが自分らしさを発揮し、学校生活をじっくり歩み始めるための「スタートカリキュラム」の取組を推進しています。

| | 1日目 | 2日目 |
|--------------|---|--|
| 朝 | 朝のしたく ・ランドセルは棚に ・道具は引出しに ・連絡帳はかごに | 朝のしたくが できるかな？ したくができたら 自由遊び |
| 朝の学活 1時間目 | 朝の会 ・おはようございます ・今日も元気かな ・今日はどんな一日 手遊びタイム 歌を歌おう | 朝の会 ・おはようございます ・今日も元気かな ・今日はどんな一日 絵本読み聞かせ 学校クイズに挑戦 |
| 2時間目 | 校長先生と お話ししよう ・先生あのね ・先生おしえて | 6年生とお話ししよう ・楽しい学校生活 ・好きな遊び |
| 休み時間 | トイレ・手洗い場を 見にいこう | うさぎを見にいこう |
| 3時間目 | 校庭で遊ぼう ・みんなで 長縄やってみよう | 学校の春みつけ ・校庭の春 ・中庭の春 ・春見つけビンゴに挑戦 |
| 帰りの学活 | 今日のふりかえり 明日はどんな一日 ジャンケンでさようなら | 今日のふりかえり 明日はどんな一日 ジャンケンでさようなら |



神奈川県教育委員会のホームページでは、スタートカリキュラムについての詳しい説明を紹介しています。



<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/v3p/shou1ri-fu/startcurriculum.html>

悩みや不安のQ & A

Q1 生活や学習等について困っていることがある時に、どうすればよいでしょうか。

困っていることがある時に、身近な相談先となるのが学校です。学校では、必要に応じて様々な立場の教職員が連携しながら、一人ひとりに応じた支援について、子どもたちや保護者の皆さんと一緒に考えていきます。まずは担任の先生に御相談ください。また、ご希望によっては、より専門的な外部の相談機関をご紹介しますこともできます。

Q2 学校では、担任の先生以外にどのような方が子どもに関わっているのでしょうか。

養護教諭、栄養教諭、栄養士、教育相談コーディネーター、スクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)など、様々な立場の教職員がそれぞれの専門性を生かし、協力しながら子どもや保護者を支援しています。

Q3 学校の他に、どのような相談窓口がありますか。

お住まいの市町村によって、それぞれの相談窓口があります。また、神奈川県教育委員会でも、ご相談の内容に応じた教育相談の窓口をご用意しています。お困りの際は、ぜひご連絡ください。

■子ども・家庭110番

(電話) 0466-84-7000 毎日午前9時～午後8時

「子どもの言葉や行動が気になる」、「子どもへの接し方に悩んでいる」など、様々な子育てに関する相談に応じています。

■神奈川県立総合教育センター

電話による相談(年末年始を除く)

平日 午前8時30分～午後9時

土日祝休日 午前8時30分～午後5時15分

総合教育相談 (電話) 0466-81-0185

発達教育相談 (電話) 0466-84-2210

不登校ほっとライン (電話) 0466-81-0185

学校教育や家庭教育に関するお悩みや子どもの発達に関するご相談、不登校等について、電話で相談することができます。

リーフレットに関する問い合わせはこちらへ
 神奈川県教育委員会支援部子ども教育支援課 045-210-8217

新入生の保護者の皆さんへ

いよいよ小学校に入学。これからの成長がますます楽しみになるとともに、分からないことや心配になることもあると思います。このリーフレットでは、子どもたちを支える取組や相談窓口等を紹介しています。

入学おめでとうございます

いよいよ小学校に入学。ランドセルを背負って学校へ通う姿を見ていると、これからの成長がますます楽しみになるとともに、「学校」という新しい環境の中でどのように過ごしていくのか、分からないことや心配になることもあると思います。

でも、安心してください。学校には、担任の先生をはじめ、子どもたちの成長をサポートする様々な立場の教職員がいます。子どもたちを支援する仕組みもあります。

すべての子どもたちのために

神奈川県教育委員会では、子どもたち一人ひとりが持つ、自らの力では解決できない課題を「教育的ニーズ」としてとらえ、その「教育的ニーズ」に適切に対応していく「支援教育」を推進してきました。

さらに、この理念を踏まえ、共生社会の実現に向け、すべての子どもができるだけ同じ場で共に学び共に育つことをめざす、という基本的な考え方のもとで、インクルーシブ教育を推進しています。



一人ひとりに応じた支援を

子どもたちへの支援は、大人が「どうしてだろう」「困った」と感じることで、気づくことから始まります。

例えば、何度注意しても忘れ物をしてしまう子どもに対して、大人は「ちゃんとやったのにどうして忘れてしまうの?」「困ったなあ」と思うかもしれません。この「どうしてだろう」「困った」と大人が感じるところは、子ども自身が「困っている」ところです。

「困った子」ではなく「困っている子」に、「なぜできない」ではなく「どうやったらできるか」に。学校では、そのように視点を変えることで、一人ひとりに応じた支援を考えていきます。

ぜひご相談ください。

学校では、一人ひとりに応じた支援に取り組んでいます。

学校は、子どもたちや保護者と一緒に考えていきます。



学習

きちんと自分の席に座って、授業を受けられるのか不安です。

大丈夫!



いすに座って授業を受けるというのは、大人でも大変なことです。また、座ってられない要因は、子どもによって様々です。

学校では、座りやすい高さのいすや机を用意する、遊びや運動を通して姿勢よく座るための体幹を鍛える、座ったままの授業にならないよう、適度に体を動かす活動を設定するなど、どのような工夫や学習活動が合うのかを一緒に考えていきます。

まだ文字の読み書きができなくて、これからの授業が心配です。

大丈夫!



学校では、少しずつ使える言葉を増やしながらか、段階的に読むことや書くことの学習を進めていきます。また、教材は、読みやすいように言葉のまとまりで書かれたり、見やすいレイアウトやフォントが使用されたりしているものを用意することもあります。

その上で、特に読み書きが難しい場合には、苦手なことは何なのか、どのような学習方法が合うのかを一緒に考えていきます。

生活

好き嫌いがあり、給食が心配です。

大丈夫!



食べる時間や量には個人差がありますので、入学当初は給食を食べる時間を長めに設定したり、配膳の量に配慮したりしています。

また、味付けや食材の組み合わせ、多様な献立など、様々な点から子どもたちがおいしく給食を食べられるように工夫をしています。

なお、アレルギーについては、安全を最優先にし、必要な配慮について一緒に考えていきます。

友だち関係

気持ちのコントロールが苦手で、友だちと仲良くできるかが心配です。

大丈夫!



子どもたちは、大人が「たいしたことではない」と思うような原因で泣いたり、衝動的な行動をとったりすることがあります。

そんな時は、まず、じっくり話を聞いたり、気持ちを落ち着ける時間を設けたりします。

また、気持ちが落ち着いたら、「どんな時に気持ちが落ち着かなくなるのか」、「その時にどうすればよいか」などを一緒に考えていきます。

低学年では、自分が困っていることを周囲の大人にうまく伝えることができない場合もあります。お子さんの様子について、お気づきのことやお悩みのことがある場合は、ぜひ担任の先生や各市町村等にある相談窓口まで御相談ください。

